

## もくじ

- 2-3 プロローグ
- 4-7 特集～製造品出荷額4兆円達成をめざして～
- 8-9 風立ちぬ～起業化支援施設～
- 10-11 風探果記～ゆうあいピック体験～
- 12-13 風 彩～宮本幸男さん～
- 14-15 一章一景～熊本市～
- 16-17 新・熊本散歩～熊本市～
- 18-19 風の伝 くまもと北から南から
- 20-21 まんが ～甲佐高校放送部～
- 22-23 新しい風
- 24-25 熊本かわら版
- 26 地球家族～県青年海外協力協会会長に聞く～
- 27 風の美術館～「道東の四季・春」舟越保武作～

## 編集雑感

▶車で移動することが多くなった。熊本の人は都会の平均的なサラリーマンの約1/2しか歩いていないそうだ。車から徒歩へ変えることで、健康面はもちろんだが、見る位置、角度、視線も変わってくるのではないだろうか。車の時とは違ったものが見え、何か違ったことを感じる事ができるかもしれない。(公)

▶「冬の夜空は、明るい星がたくさん見られ賑やかです」と清和高原天文台の宮本さんは言う。昔は空一杯に星が溢れ、それぞれが競いあって輝いていたように思う。最近では、あまり意識して空を見ないが、何だか星の数が少なくなったような気がする。星が見えにくいのは、地上の光よりも地上を浮遊するゴミの乱反射による影響が大きいとか。一人ひとりが環境美化に努め、きれいな星空を残したいものだ。(透)

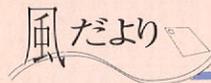
## 表紙のことは

夏から秋にかけて阿蘇方面を走ると、若い女の子たち(中にはオバサンもいる)が、愛想よく手を振って焼きトモロコシを売り込んでいるのに出会う。僕はふざけて手だけ振って通りすぎるが、それでも彼女たちは一所懸命手を振り続けている。「とうきび人形」はあのトモロコシの皮で作った郷土玩具。人形を見ると、あたたかい夏の日ざしを思い出す。 宮井正樹

## 愛読者募集

県では、県広報誌(くまとの風)の愛読者を募集しています。「くまとの風」は、くまとの新しい動きやユニークな人、県下各地の催物などを、写真やイラストを織り混ぜてお届けする広報誌です。あなたも、この機会に「くまとの風」で素敵な出会いを経験してみませんか。

■発行/偶数月発行 年6回 ■郵送料として/1,500円(郵便切手をお願いします) ■お申し込みは/〒862 熊本市水前寺6丁目18番1号 熊本県広報誌「くまとの風」係



## お便り募集

みなさんの身近な情報(出来事・季節の変化・風景・感想など)を200~400字程度にまとめてお送りください。(採用された方には「風」テレホンカードをプレゼント)

●あて先

〒862 熊本市水前寺6丁目18-1熊本県広報誌「くまとの風」係 ☎(096)382-9780

たくさんのお便りをお待ちしています。

05	総広
03	002-4

熊本県広報誌「くまとの風」126号

平成5年12月1日発行(年6回・偶数月1日発行)

企画・監修・発行/〒862 熊本県広報誌・熊本市水前寺6丁目18番1号 ☎(096)383-1111

企画・構成・印刷/株城野印刷所 編集・取材/有スタジオ談 制作/ユニカム